

人と企業の社会貢献を応援する

フィランソロピー

PHILANTHROPY MAGAZINE FOR PARTICIPATION IN SOCIETY



2014年12月16日に学士会館(東京都千代田区)で行われた贈呈式



まちかどのフィランソロピスト賞
土田英昭氏



青少年フィランソロピスト賞【文部科学大臣賞】
神奈川県立逗子高等学校



青少年フィランソロピスト賞【奨励賞】
杉並区立桃井第三小学校



青少年フィランソロピスト賞【奨励賞】
中央高等学校



青少年フィランソロピスト賞【奨励賞】
青森県立三沢商業高等学校



特集 第12回 企業フィランソロピー大賞
第17回 まちかどのフィランソロピスト賞

2015年4-5月号

No.367



青少年フィランソピスト賞
「奨励賞」

中央高等学院

(東京都武蔵野市)

チーム「キズナ」で仲間と目標を成し遂げながら被災地支援

【贈呈理由】

創立36年を迎える通信制高校・高卒程度認定試験・大学受験のサポート校である同校では、公式スポンサーを務める東京ヴェルディのホームゲームの際、職業体験として運営を手伝うほか、2011年からは生徒有志によるチャリティイベントを実施。募金やグッズ販売の売上金を東日本大震災被災地支援のために寄付している。その総額は100万円ほどに達する。

きっかけは2010年、職業体験を通じて生徒が前向きになっていく様子を見た教員の呼びかけ。有志のイベント企画運営チーム「キズナ」



をチャリティグッズとして販売し収益金を寄付する案が浮上りました。11年4月24日、東京ヴェルディの試合会場でチャリティグッズとして販売し、目標の30個を大きく超え74個が完売。以後、GREEN DAYでグッズを販売し、収益金を寄付していくこととなりました。

11年度のキズナメンバーは21名でキヤップと缶バッジを販売。12年度のメンバーは16名、チームとして3年目に入りミーティングも順調で、前年度を上回る販売個数と収益金で結果は十分でしたが、目標を達成できず前年までの達成感とはなりません。目標数値の設定と達成感のバランスの難しさを学びました。この年から募金活動も始めました。



13年度のメンバーは20名、宮城県山元町から山元タイムの方を招いてミサンガづくりの指導を受け、手づくりミサンガを販売しました。目標は制作500個、販売数は300個。前年を上回るぞと陣を組んで強い気持ちで気合いを入れ直し、33万円という売り上げを達成しました。3年間続けてきた先輩にとっては集大成となりました。後日ミサンガ販売のパンフレットを作成し、各家庭に毎月送られる学院通信に同封してもらい53個を販売しました。14年度はメンバー17名で、フェイスタオルを販売しました。前年からのメンバーは3名という新体制で、はじめは活発な意見が出ず話し合いがなかなか進みませんでした。しかしミーティングを重ねるうち団結力も増していきました。目標販売数は達成できませんでしたが、前年のミサンガに続く数を販売しました。

グッズの売り上げ金総額は118万8700円。募金総額は3万7128円。総額

が発足、2週間に1度のミーティングで、グッズの企画、数量、価格を決め、目標達成の工夫を凝らす。当初「楽しめればいい」という雰囲気だったが、3年生メンバーを中心に卒業記念制作を試合会場場で販売し、東日本大震災被災地に売上金を寄付したことで方向性が定まり、以降、グッズを制作し売上金を寄付する企画を継続している。

生徒にとってこうした機会は、仲間と目標を成し遂げる貴重な機会であり、自信につながっている。可能性を信じ伸ばそうとする教員、多くの人を巻き込んだ取り組みに敬意を表し、「奨励賞」を贈るものである。

【贈呈式プレゼンテーション】

中央高等学院は、関東圏に吉祥寺本校、池袋校、渋谷原宿校、横浜校、千葉校がありますが、5校から集まった有志が本校最大のイベント「GREEN DAY」の企画・運営をサポートするチームが「キズナ」です。2010年度に発足しました。東日本大震災以降は、復興支援活動として「GREEN DAY」当日に、キズナでデザインしたチャリティグッズの販売と募金活動を行っています。グッズの売上金と募金は、被災地の復興支援を行っている一般社団法人ラプフォーニッポンを通じて被災地に寄付しています。

中央高等学院は、Jリーグ東京ヴェルディのスポンサーで、ホームゲームでは希望する生徒が「ありがとうプロジェクト」と称したイン

ターシップで、入場ゲートでのチケットもぎりや、パンフレットの販売をしています。GREEN DAYはその特別版で09年度から年一回全校舎の生徒が集まり競技場周辺の清掃活動や、スタンド清掃やインターシップ活動を行います。希望者はスポーツ講座やスポーツビジネス講座にも参加できます。

キズナは、GREEN DAY当日、清掃用具の配布と回収、ごみの回収、お弁当の配布など、現場の裏方として他の生徒の活動を支えます。グッズ販売を通じて会場内でチャリティ活動もします。

10年度にチームキズナがメンバー16名で発足。入場口でうちわを無料配布しました。この年東日本大震災が起き、卒業記念品として制作していたエコバックとボールペンの在庫

122万5828円です。原価はラプフォーニッポンが負担しており、収益金はすべて寄付しています。

同団体を訪問した際の、代表のキャンドル・ジュンさんの話に感銘を受け、実際に被災地を訪問したいという意見が上がり、13年に福島県田村郡三春町の熊耳仮設住宅と、福島県いわき市久ノ浜のはまかせ商店街の訪問が実現しました。14年度はキズナメンバー以外にも参加者を募り、同じ場所を再訪しました。

グッズに使っているモチーフには、たくさんの方が込められています。四つ葉のクローバーには「希望、愛情、幸福、信仰」の4つのリーフワードが、青い薔薇には「不可能を可能にする、奇跡、夢が叶う」という花言葉があります。そして滴には被災地を潤すという願いが込められています。ミサンガには福島とみんながこのミサンガで繋がるようにという思いを込めて編みました。

(発表者：木村瑠那さん、高須佳輔さん、陣内美希子さん)

※ミサンガ：手首に巻き付ける刺繍糸のお守り